※令和４年度以降入学生用

学校番号	3014

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「公共 新訂版 共につくる未来」　（実教出版）						
副教材等	公共マイノート（実教出版） ニュービジョン公共（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業時は、教科書・資料集・ワークノートを必ず持参してください。
・レポート課題や小テストなど積極的に実施します。自宅での学習も含め計画的に取り組むようにしてください。
・グループワークなども行います。積極的に発言をしたり、友達と協働しながら取り組むことを意識してください。

2　学習の到達目標

知識及び技能…現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等…現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
学びに向かう力、人間性等…よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	社会を作る私たち	①青年期 ②自己形成の課題 ③職業生活と社会参加 ④伝統・文化と私たち	a: 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b：公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

１学期	人間としてよく生きる	①古代ギリシャの人間観 ②宗教と人間 ②科学と人間 ③自由と実現 ④社会を作る人間	a:選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 b:倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
１学期	他者とともに生きる	①人間と幸福 ②公正な社会を目指して	a.　人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b.　・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c.　よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

1学期	民主社会の倫理	①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配	a:各人の意見や利害を公平･公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:公共的な空間における基本的原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
1学期	民主国家における基本原理	①民主政治の成立 ②民主政治の基本原理 ③民主政治の仕組みと課題 ④世界の主な制度	a: 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b: 公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	日本国憲法の基本的性格	①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本的性格 ③自由に生きる権利 ④平等に生きる権利 ⑤社会権と参政権・請求権 ⑥新しい人権 ⑦人権の広がりと公共の福祉 ⑧平和主義とわが国の安全 ⑨こんにちの防衛問題	a. 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。 b. 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 C. よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
	日本の政治機構と政治参加	①政治機構と国会 ②行政権と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加	a:政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	国際政治の動向と課題	①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③こんにちの国際政治 ④人種・民族問題 ⑤軍拡競争から軍縮へ ⑥国際平和と日本の役割	a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート
	現代の経済社会	①経済主体と経済活動の意義 ②経済社会の変容 ③市場のしくみ ④市場の失敗 ⑤現代の企業 ⑥国民所得 ⑦経済成長と国民の福祉 ⑧金融の役割 ⑨日本銀行の役割 ⑩財政の役割と租税 ⑪日本の財政の課題	a:　・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:　自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:　よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	日本経済の特質と国民生活	①戦後日本経済の成長と課題 ②転機に立つ日本経済 ③経済社会の変化と中小企業 ④農業と食料問題 ⑤消費者問題 ⑥公害の防止と環境保全 ⑦労働問題と労働者の権利 ⑧今日の労働問題 ⑨社会保障の役割 ⑩社会保障制度の課題	a. 多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実･安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ･現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b．自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c. よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実･安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	国際経済の動向と課題	①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際経済 ④地域的経済統合の進展 ⑤国際経済のつながりと課題 ⑥発展途上国の諸課題と日本の役割	a:経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:地理など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、多面的・多角的に考察し、表現している。自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度